

三．看護学部看護学科

学部学科の教育方針と教育目標

医学や医療技術の進歩がめざましい反面、人々の健康や病気に対する考え方や価値観、対処の仕方にも多様性が見られること、さらに生命の尊厳や患者の人権に対する意識の向上も見られる現状において、人々のニーズに沿いながら安全で良質の医療を提供していくことが医療現場で求められていることから、次の5点を本学部学科の教育方針および教育目標としている。

(1) 高い倫理性と教養ある豊かな人間性を持った保健師・看護師の養成

徳育を建学の精神とする本学の看護学部看護学科では、人間の尊厳などを理解する高い倫理性と崇高な精神を持ち合わせ、対象者の立場に立ち、自立して対象者の代弁者としての役割をとることができる人材を育成するため、看護のベースである人間教育と豊かな人間性を養う教養教育に力を入れている。

(2) 地域の「医療」、「保健」、「福祉」一体のチームリーダーとしての素養の育成

最も実践的でかつ経験を有する地域看護における訪問看護や在宅ケアサービスの場で将来的に地域医療のチームリーダーとしての役割を果たして行けるだけの「基礎看護専門知識・技術」と「基礎医学専門知識」を軸にした論理、教養と使命感と社会貢献の心をもったエリートとして実践力のある看護専門職業人の養成に徹底した教育研究活動を行うことを本学科最大の特色としている。

(3) 対象者とのカウンセリング能力と医師との専門的コミュニケーション能力の育成

対象者との、より高度なコミュニケーション能力としての「カウンセリング能力」が発揮できるように教育課程に特徴を付け、また基礎医学と看護学の理論と実践の場である臨地実習教育をとおして、医師との専門的なコミュニケーション能力を備え、科学的な判断力と専門的知識や技術を身につけることによる論理と使命感をもち、実践に強い看護能力を身につけた看護師、保健師を養成する。

(4) 既設学部との有機的な連携

既設の人間学部と総合経営学部を持った本学の利点を最大限に活用し、問題解決能力、論理構成能力、情報処理能力、コミュニケーション能力を身につけた看護専門職業人を育成する。

(5) 教育目標

本学部は、看護師の養成と医学に基づく知識を基礎とし、医師、歯科医師の医療、診療活動の補助、援助、新生児から高齢者まで、人間の発達段階のそれぞれ固有の健康問題への援助と健康の維持、増進（Health Promotion）について看護実践能力を向上するための教育研究を目的とする看護教育（Nursing Education）として位置づけており、厚生労働省の指標である「看護師教育の技術項目と卒業時の到達度」を充足し、国試合格に向けての専門知識教育を目標とする。

教育課程の編成の考え方及び特色

本学部学科の卒業に必要な単位数を取得すると、看護師と保健師の国家試験受験資格が得られ、教職課程として養護教諭一種免許が取得可能な教育課程を設置している。

「学部学科の教育方針と教育目標」を具現化するための教育課程を構成しており、看護師および保健師養成の統合カリキュラムを充足する教育課程を編成している。卒業に必要な単位数は、本学の特色と学部の独自性を反映させながら、過密教育を避け学士課程にふさわしい主体的学修が可能な129単位（以上）に設定している。その教育課程の科目群は次表のとおりである。

総合教養科目	a. 基本リテラシー科目	外国語リテラシー
		情報リテラシー
		身体健康リテラシー
	b. 基本教養科目	
専門基礎教育科目	c. 身体の仕組みと働き	
	d. 人の健康生活と保健	
	e. 疾病の成り立ちと治癒過程	
専門教育科目	f. 基礎看護学領域	
	g. ライフサイクル看護学領域	
	h. 広域・健康レベル看護学領域	
	i. 総合看護学領域	
他学部履修科目		

教育課程を編成するにあたり、教育目標を具現化した次の5点を特に特徴づけて構成している。

- (1) 建学の精神を理解し、人間生命の尊厳への深い畏敬の念を持ちながら、その人間が置かれている諸状況への幅広い洞察力と温かい感受性を養い、豊かな人間性を備えた保健・看護専門職業人として生きていく基礎的教養を身につけること
- (2) 「人間の健やかなあり方」の探究をとおして、高い倫理性と使命感をもって人間とその社会に貢献できる確かな専門性を養うこと
- (3) 保健師・看護師に共通した看護学に関する専門基礎知識と技術・態度の習得に

基づく論理、教養と、保健・医療・福祉の分野における使命感と社会貢献の心をもったエリートとして資質の高い看護専門職業人として貢献できること

(4) 専門領域における知識と技術の高度化や地域社会のニーズに柔軟に対応できる能力と論理的、創造的に開発しながら行う看護実践を身につけること

(5) 看護倫理にかかる教育を強化することによって人間関係形成過程を伴う体験学修ができること

総合教養科目

この科目群は本学部の教育目標(1)、(2)に示した事柄と(3)の導入部分を達成するための科目群として編成している。2年次以降の「思考する」問題発見・創造型学修へスムーズに移行できるよう、1年次より専門基礎教育科目と専門教育科目の基礎部分を学ぶことも特色の一つであり、専門基礎教育科目と並行して、幅広い分野への関心にも応える科目群として位置づけている。

a. 基本リテラシー科目

学部専門基礎教育及び専門教育の基礎基本となる技能（リテラシー）をトレーニングする《基本リテラシー・プログラム》としての科目群

b. 基本教養科目

学部専門教育の基本となる素養・教養を教授する《基本教養プログラム》としての科目群

【視点1】人間の生命の尊厳や大切さ、倫理観理解と認識を深めるために

『民衆の歴史』『倫理学』

【視点2】人間の心のありようと精神性を理解するために

『人間の心』

【視点3】使命感と社会貢献の心をもったエリートとして資質を高めるために

『メンタリング論（自律型人材育成論）』『ケアワーカーとしての人間形成』『アセンブリ・アワー』

【視点4】人間社会への理解を深めるために

『表現入門（表現文化）』『人間と自然環境』『暮らしの中の憲法』『茶道と文化』『アセンブリ・アワー』

専門基礎教育科目

看護学に関係する近接学問領域の知識と技術・技能習得のための科目群、つまり教

育目標(3)、(4)、(5)に示した事柄を達成するための科目群である。看護実践能力を養うための基礎基本となる人間・健康・基礎医学の理解をめざす科目で構成している。

人体の構造と機能を中心とした「c. 身体の仕組みと働き」領域、社会保障制度と生活者の健康ならびに健康現象の疫学と統計を中心とした「d. 人の健康生活と保健」領域、疾病の成り立ちと回復ならびに医療倫理を中心とした「e. 疾病の成り立ちと治療過程」領域の3科目群に分ける。また、本学の1つの特色として口腔保健の知識を習得した看護師、保健師の育成のための科目を配置している。

【視点1】人体の構造と機能の理解を深めるために（「c. 身体の仕組みと働き」領域）

『解剖学』『生理学』『生化学』『生物学』『神経生理学』『栄養と健康』

【視点2】生活者の健康を支援する行政の仕組みを知り、制度の活用能力を養い、疫学、保健に関する統計と公衆衛生の諸問題の考察、カウンセリング能力を身につけるために（「d. 人の健康生活と保健」領域）

『関係法規』『社会福祉論』『社会保障論』『障害者福祉論』『疫学』『保健統計学』『衛生・公衆衛生学』『発達心理学』『人間関係論』『健康心理カウンセリング』『臨床心理カウンセリング』『口腔保健と健康』

【視点3】疾病の成り立ちと回復の理解ならびに医療倫理に関する知識を強化するために（「e. 疾病の成り立ちと治療過程」領域）

『病理学』『薬理学』『疾病論』『疾病論』『疾病論』『生命・医療倫理学』『微生物学』『遺伝学』『免疫学』

専門教育科目

看護専門職として必要な専門知識・技術・態度を習得するための科目群で、教育目標(2)の応用と(3)、(4)を踏まえて達成するための科目である。「看護の基盤」(f. 基礎看護学領域)「あらゆる成長過程レベルにある個人・家族・集団への看護」「急性経過をたどる健康障害状態にある人の看護」「慢性経過をたどる健康障害状態にある人の看護」(g. ライフサイクル看護学領域)「地域に住むあらゆる健康レベルにある個人・家族・集団への看護」「健康保持・増進への看護」(h. 広域・健康レベル看護学領域)の各分野に必修科目を配している。その他に、教育目標(4)を念頭において、本学独自に(i. 総合看護学領域)を設け、看護の倫理や管理、医療安全を学ぶ科目を設定している。

【視点1】看護学の基盤となる知識・技術・態度を体得するために（f. 基礎看護学領域）

『基礎看護学概論』『基礎看護学概論』『看護方法論』『生活援助技術論』『ヘル
スアセスメント』『看護過程論』『看護過程演習』『臨床技術論』『基礎看護学実習』
『基礎看護学実習』『国際看護学研修』

【視点2】あらゆる成長過程レベルにある個人・家族・集団への看護の知識・技術・
態度を体得するために（g. ライフサイクル看護学領域）

『母性看護学概論』『母性看護学援助論』『母性看護学実習』『小児看護学概論』『小
児看護学援助論』『小児看護学実習』『成人看護学概論』『成人看護学援助論』『成人
看護学援助論』『成人看護学実習（急性期）』『老年看護学概論』『老年看護学援助
論』『老年看護学実習』『老年看護学実習』

【視点3】急性期・慢性期経過をたどる健康障害状態にある人への看護の知識・技術・
態度を習得するために（g. ライフサイクル看護学領域）

『成人看護学概論』『成人看護学援助論』『成人看護学援助論』『成人看護学実
習（急性期）』『成人看護学実習（慢性期）』『老年看護学概論』『老年看護学援助論』
『老年看護学実習』『老年看護学実習』

【視点4】健康の保持・増進への看護の基礎的知識・技術・態度を習得するために（h.
広域・健康レベル看護学領域）

『在宅看護論』『家族看護論』『保健指導論』『学校保健論』『産業保健論』『健康教
育論』『早期体験実習』『養護概説』『精神看護学概論』『精神看護学援助論』『精神看護
学実習』

【視点5】地域で生活するあらゆる健康レベルにある個人・家族・集団への看護の知識・
技術・態度を習得するために（h. 広域・健康レベル看護学領域）

『地域看護学概論』『地域看護学概論』『地区活動論』『地域看護学実習』『地
域看護学実習』『地域看護学実習』

【視点6】看護を統合し地域に根ざす諸問題を解決できる看護専門職業人をめざして看
護を発展させる知識・技術・態度を習得するために（i. 総合看護学領域）

『看護倫理学』『医療安全論』『看護マネジメント論』『地域看護活動と法』『災害看
護論』『総合看護学実習』『総合看護学基礎演習』『総合看護学応用演習』『看護学研
究』『看護学研究』

他学部履修科目

学際的な幅広い知識と奥深い教養を培い、同時に専攻分野の専門的学修に広がり
を持たせ、深化させることに寄与する科目である。

【人間学部科目】心理学科（「健康心理コース」「カウンセリングコース」「認定心
理コース」）、人間文化学科（「健康スポーツコース」「国際文化コース」「観光マネジ
メントコース」）の多様な科目を履修することによって、人間を知り、人間が築き上げた

多様な文化について学ぶことができる。

【総合経営学部科目】経営情報学科（「システムマネジメントコース」「企業マネジメントコース」）、経営経済学科（「経営心理コース」「会計コース」）の多様な科目を履修することによって、複雑な様相を示す現代社会の成り立ちやそこに暮らす人々の生活の諸問題を考察し、良き市民としての教養を身につけることができる。

自己点検・評価

総合教養科目は保健と看護の統合カリキュラムでの看護職教育の基礎的学問として位置づけ、豊かな人間性を備えた専門職業人としての基礎的教養を身につける科目として各教員は意欲的に授業に臨んでおり、また専門基礎教育科目と専門教育科目については看護専門職として必須な学問として修得できるように各担当者はわかりやすく教授し、学生は学修成果を得ている。

課題

領域別看護学実践実習の経験から専門看護職者として基礎的技術力を十分発揮できていない学生が見受けられたことから、より確実な方法で当該技術力を発揮できるようにさせることが必要であるということがわかった。それに対処するため看護学実践実習開始時に卒業時看護技術の到達度を踏まえて実習に臨むようにした。